

松江おもしろ談義

— 歴史をたずねる・美術にたしむる —

学芸員による松江の歴史と美術に関する講座です。
※詳細は随時ホームページ等でご案内します。



参加
無料

場所 館内 歴史の指南所

とき 毎月1回・日曜日 14:00~15:00
4/23、5/21、6/18、7/16、8/20、9/17、
10/15、11/19、12/17、1/21、2/18、3/17

自宅で楽しむ松江歴史館



松江歴史館ホームページには、ご自宅からも松江歴史館をお楽しみいただけるコーナーがあります。
収蔵品データベースのほか、ぬり絵やワークシートなどお子さんにも楽しんでいただける内容を盛り込んでいます。



おうちミュージアム
QRコード

松江城天守VRで 登閣体験

13歳
以上対象

体験
無料

予約
優先

松江歴史館にしながら国宝松江城天守を訪れることができるVRコーナーを新設。祈禱札を間近で見たり、梁の高さから柱を観察したり、VRならではの目線で松江城天守を楽しむことができます。



松江歴史館では、企画展に関連した講演会や季節に応じたイベントも開催しています。

各種イベントにつきましては、ホームページ、Facebook、Twitter、Instagramで随時ご案内します。

<https://matsu-reki.jp/>

松江歴史館



で最新情報を配信中!

※予定はやむを得ず変更となる場合があります。

※各種イベントのお申込みはお電話にて承ります。(TEL:0852-32-1607)

開館時間

9:00~17:00(観覧受付は16:30まで)

休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日~1月1日)
※ただし令和5年5月1日(月)は開館

展示室観覧料(展示室以外は入館無料)

基本展示/大人510円(410円) 小・中学生250円(200円)

企画展示/内容により料金が異なります

※()内は20名以上の団体料金

※有料展示観覧の方は、当日のみ松江ホーランエンヤ伝承館を無料で観覧できます。

年間パスポート

大人1,560円 小・中学生780円

※購入日から1年間、松江歴史館の基本展示と企画展示および松江ホーランエンヤ伝承館が何度でも観覧できます。(その他特典があります。)

アクセス



無料専用駐車場あり(徒歩1分)
※北堀橋南側の川沿いに12台(①~⑫番)
※敷地内に障がい者専用駐車場あり

- 有料駐車場**
- P1 松江城大手前駐車場 …… 徒歩3分
 - P2 タイムズ・畑殿町駐車場 …… 徒歩4分
 - P3 島根県民会館有料駐車場 …… 徒歩5分
 - P4 城山西駐車場 …… 徒歩13分

※松江城大手前駐車場と城山西駐車場は割引特典あり。

- おもてなし駐車場(無料)**
- P5 松江商工会議所駐車場 …… 徒歩3分
 - P6 島根県庁駐車場 …… 徒歩7分
 - P7 島根県庁東庁舎駐車場 …… 徒歩9分
 - P8 島根県庁南庁舎駐車場 …… 徒歩8分
 - P9 島根JAビル駐車場 …… 徒歩8分
 - P10 島根県職員駐車場 …… 徒歩10分

※おもてなし駐車場は土・祝日のみ利用可能。
※各種行事の際はご利用いただけない場合があります。

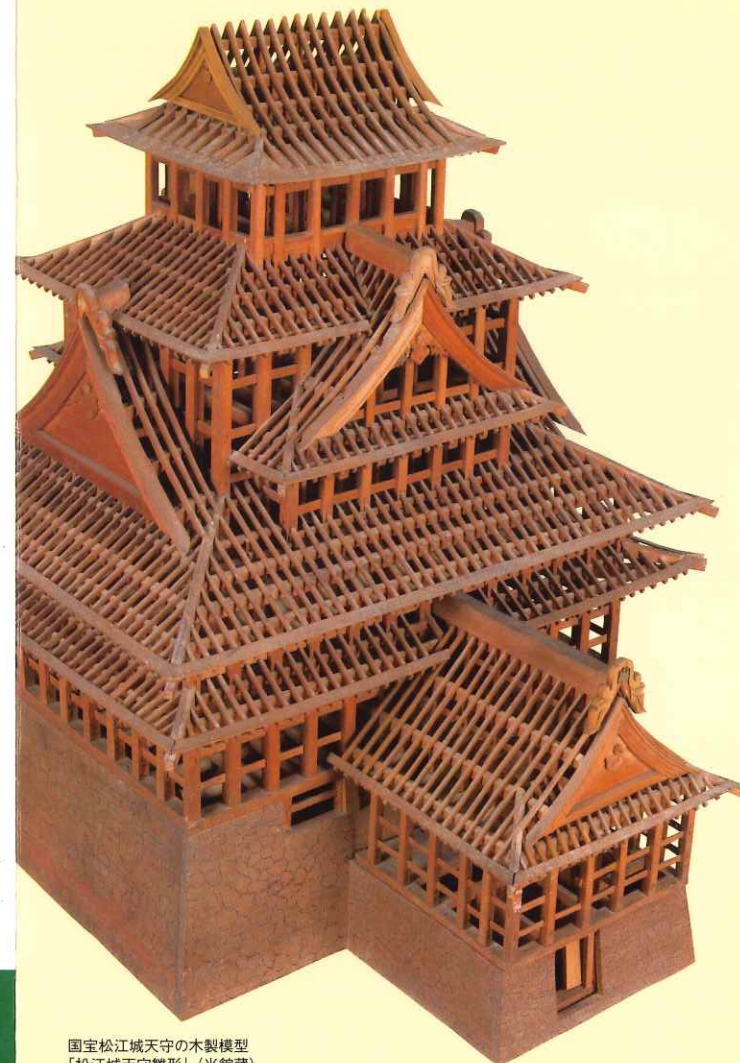
バス松江駅から

- ぐるっと松江レイクライン(観光ループバス) 約13分 ①大手前堀川遊覧船乗場・歴史館前 下車徒歩3分
- 一般路線バス 約9分 ②県民会館前 下車徒歩5分/約15分 ③塩見縄手 下車徒歩1分

※一般路線バスは、県民会館方面行き(松江しんじ湖温泉、島根大学、川津行きほか)をご利用ください。
便により「県庁前」「塩見縄手」を経由しないものがありますので、乗車時にご確認ください。

松江市長
松江歴史館
展示・催し物のご案内

SCHEDULE
2023.4—2024.3



国宝松江城天守の木製模型
「松江城天守雛形」(当館蔵)

■お問合せ先 / 〒690-0887 島根県松江市殿町279番地

TEL:0852-32-1607 FAX:0852-32-1611

<https://matsu-reki.jp/>



松江歴史館HP
QRコード

4.28(金)ー6.25(日)

企画展

出雲国の白隠・大雅・風外

ー往来する禅と書画ー

江戸時代なかば、民衆への禅の普及に尽力した僧・白隠慧鶴。出雲国では、白隠門下の葦津慧隆(永徳寺)と円桂祖純(天倫寺)の二人の僧が住職をつとめていました。この二人を頼って、白隠に参拝していた文人画家・池大雅は出雲国を訪れたといひます。また僧・風外本高は、当地に遺る大雅の書画に学び、出雲国の人々と交流を深めました。本展では、出雲国にゆかりの白隠・大雅・風外による書画の魅力や、当地での足跡、伝承などを紹介します。



〔藤雲飛清図〕池大雅筆(個人蔵)

10.20(金)ー12.10(日)

特別展

漆壺斎と勝軍木庵

ー花開く松江の漆文化ー

初代・小島漆壺斎(?-1830)は、松江藩松平家7代目藩主松平治郷(不味)に取り立てられ、号を与えられた塗師です。代々漆芸を家業とする小島家の作品は、塗りと品格のある蒔絵に特徴があり、全国でも高く評価されています。中でも初代漆壺斎の手掛けた茶道具は、不味の美意識を伝える品として各地で大事に伝えられています。勝軍木庵光英(1802-71)は、松江藩松平家9代目藩主松平齊貴のお抱え蒔絵師でした。光英は、豪華な高蒔絵を得意とし、棗、香合、印籠、硯箱、文台などの作品を多く残しています。本展では、出雲の名工として名高い両者の作品を紹介し、松江藩の漆芸文化を振り返ります。



〔菊文棗〕初代小島漆壺斎作(当館蔵)

7.21(金)ー9.24(日)

企画展

松江市小学校開校150周年 みんなの小学校 150年の歩み

明治5年(1872)、近代的学校制度を定めた「学制」が発せられます。松江では翌年4月に初めて小学校が開校しました。松江で最初の小学校は、雑賀町の洞光寺内に置かれた雑賀小学校です。以来、各町に開校し、制度の改変や統合分離を繰り返して現在に至ります。

本展では、松江の小学校に残る教育資料や写真に見られる各時代の学校や子どもたちの様子などから150年間の学校のあゆみを振り返ります。



〔北堀小学校の運動会(昭和8年)〕(松江市立城北小学校蔵)

2024.1.26(金)ー3.31(日)

館蔵品展

明治時代のサムライたち

ー松江藩士の行く末ー

松江藩が廃され、県が誕生し、武士が禄を失った明治時代。急速に変化する時代を、旧松江藩士はいかに生きたのか。生涯松江城下に居し島根県で公職を勤めた父・三浦正祐、明治時代に生まれて大学に進み学問で身を立てた子・三浦周行をはじめ、社会の変革期における旧松江藩士の生き様を、初公開となる三浦周行家文書などを通して紹介します。



〔明治20年代の松江城天守〕(当館蔵)

スポット展

基本展示室・最終コーナー

要基本展示
観覧券

出雲札の巡礼道

4月4日(金)ー5月28日(日)

絵師・小村成章

ー松江を描くー

5月30日(金)ー7月30日(日)



〔松江城下図〕小村成章筆(当館蔵)

徳川家康の城

ー『極秘諸国城図』よりー

8月1日(金)ー9月24日(日)



〔極秘諸国城図の内
江戸始図〕(当館蔵)

初代漆壺斎と同世代の工芸

9月26日(金)ー11月26日(日)

引札

11月28日(金)ー2024年1月28日(日)



〔引札 鯛乗り恵比寿〕(当館蔵)

女性を描く

2024年1月30日(金)ー3月31日(日)



〔少女図〕生島竹雨筆(当館蔵)

ミニ展示

展示ホール・展示室前

観覧無料

不味のハンコ

4月4日(金)ー5月28日(日)



〔不味〕松平不味筆(当館蔵)

若槻禮次郎コレクション 若槻禮次郎が書いた「天満書」

5月30日(金)ー7月30日(日)

水郷松江

ー橋を飾る擬宝珠ー

8月1日(金)ー9月24日(日)



〔大橋渡る女学生(当館蔵)〕

松江の木工

ー新収蔵品を中心にー

9月26日(金)ー11月26日(日)



〔提越清草籃〕(当館蔵)

料理と酒のうつわ

ー葉山焼と布志名焼ー

11月28日(金)ー2024年1月28日(日)

明治のお仕事

ー松江の写真師ー

2024年1月30日(金)ー3月31日(日)



〔屋根看板〕伝荒川亀翁影(当館蔵)

基本展示室も展示替えがあります

松江藩の歴史や文化を紹介する基本展示室(常設展示室)では、3か月に一度、大名行列図や町絵図、刀剣などを展示替えしています。展示替えのスケジュールなど詳細につきましては、随時ホームページでご案内します。

〔赤銅金象嵌雲龍図鐔 銘 雲陽住谷豊重作〕(当館蔵)

